

東久留米CPR友の会

ホーム 基本情報 活動紹介 おしらせ 問い合わせ

ヘルパーステーションこだま職員研修で応急手当全般の実技講習実施

指定訪問介護サービス事業者
ヘルパーステーションこだまの職員研修
で応急手当全般の実技講習

日時 2月22日(水)18時30分～20時45分

場所 小平市美園町デーサービス施設内

受講者 17名(ホームヘルパー)

指導者 川島、岸川、小山、櫻井、田村

内容 止血法、異物の除去法、やけど、搬送法、包帯法、心肺蘇生法

使用器具 人形2体、AEDトレーナー2個、三角巾18本、キューマスク17個

心肺蘇生法はガイドライン2010年対応で東京消防庁が平成24年1月1日から新しいガイドラインに基づき指導を始めましたので新しい心肺蘇生法で指導しました。改正後

反応がなければ近くの人に119番通報とAED搬送を依頼し、気道を確保せずに呼吸の確認(胸と腹部の動きを見る)。

普段どおりの呼吸がなければ、胸骨圧迫30回をする。

胸骨圧迫が終わったら、気道確保と人工呼吸2回をする(その後は、胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返し行う)。

AEDの小児用電極パッドを貼る対象は、およそ6歳ぐらいまで乳児に対してAEDを使用できる。

左記写真 心肺蘇生法のグループが2体の人形を使って実技を行っているところ



止血法の足の間接圧迫法をしているところ 異物の除去法でハイムリック法をしているところ 異物の除去法で背部叩法をしているところ



やけどの説明をしているところ

包帯法の三角巾のたたみ方をしているところ

包帯法の膝の補強をしているところ



心肺蘇生法の反応の確認をしているところ

止血法の手の間接圧迫法をしているところ

包帯法の膝の補強をしているところ



心肺蘇生法の反応の確認をしているところ 止血法の手の間接圧迫法をしているところ